

自己実現への道

第 67 回 — 第 4 章 天才とは真剣に夢を見る人」(その 6) —

★「自力で解決できないことは、自分の身の上に起こらない」

車で道路を進んで行くと、袋小路に迷い込み、行き止まりになってしまうことがある。行き止まりに気づくとドライバーは U ターンして、今来た道に戻ってゆく。失った時間を取り戻すかのように、袋小路の道はもう何処にも通じていないので、抜け道のない袋小路に自分を閉じ込めてはならないとそこから逃げ出して行くのである。

しかし、「行き止まりの道は罠である」そこから先にはもう何処へも行けないと錯覚させる「罠」なのだ。

行き止まりになったら、車を降りて歩くのだ。深く考え方を切り替えて、進むのだ。

今あなたのおかれている状態は？ 将来の展望が見えずに行き詰まってははいないだろうか。前途になんの希望もない袋小路に迷い込み動きがとれなくなっているはいないか。立ち往生した車はもう誰も動かさせない。

降りて歩くことだ。マンネリに陥った考え方や行動から抜け出すには勇気が必要だ。

障害は何か。誰が？何が？あなたを閉じ込めているのかを解明してみることだ。

ひょっとすると、最大の障害は、あなた自身かも知れない。

罠をすばやくふりほどいて、新しい目標を立て、新しいコースを作曲しよう。

今いる地点から、どちらへ向かって行くかの選択はあなたの判断に委ねられているのだ。

行き詰まったとき、解決方法(脱出方法)を必死に考えてほしい。有名な言葉がある。

「自分の力で解決できないことは、自分の身に起こってこない」のだ！

★先頭をきる「マバリック」(群れを離れる子牛)になれ

あなたはマバリックになる勇気があるだろうか？ マバリックは勇敢な気力にあふれた子牛で、群れとは一緒に走らず、遙かな峡谷の呼び声に惹きつけられて群れを離れる。

このようなマバリックがいるから牛の群れは生きていけるのである。

マバリックのいない牛の群れが嵐に出会うと、風に背を向け、頭をうなだれ、肩を寄せ合っとうずくまってしまう。

いくつかの群れがこのようにして全頭凍死したという例もある。

群れを割って出て、首を風に向け、避難所や草地を見つけるために先頭を切る勇気のあるマバリック。

そのような人はどこにいるのか。

マバリック的な人とは、信念の道を歩む人の大切なひとつの特徴である。

何かをしようとするとき、自分の前を歩いている人に付いて行くのではない。

賢明な、我が道を歩む人間になるのだ。

信念に身をゆだね、心を一新して、自分を作りかえようではないか。

人と同じ道を歩けば、安心した気になる。難が少なく、出世も早いように思える。

しかし、それでは自分の力を発揮できず、たいした発展はできない。

そうではなく、「going my way」こそが成功のための秘訣である。

<MIKO>

☞ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より